

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 28 学校名 音戸小学校

a 学校教育目標	〈小中一貫教育目標〉 ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 知・徳・体の基礎的な力を身に付け、学校や故郷に誇りと愛情を持ち、感謝・貢献する児童を育成。
	夢をもち 自ら動き たくましく 生活する 児童の育成		〈ビジョン〉(将来の学校像) 挨拶と笑顔があふれ、安全・安心な学校 児童が自信を持ち、目標に向けて挑戦する学校 地域・家庭とつながり、信頼される学校を目指す。

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>前年度は感染症予防対策を徹底して行い、考える授業づくりとして、「発問」に重点をおいた授業改善に取り組んだ。さらに、ICTを活用したことで、考えの共有がなされ、個々の思考力の伸びも見られた。地域学習等においては十分行えなかったことで、課題発見・解決学習の内容で変更を強いられ、「本質的な問い」に迫るところまで達していない。児童同士が関わる活動も制限され、リーダー性に乏しく、学習面や生活面で自己管理が難しい児童も多い。</p> <p>今後は中学校区で設定した資質・能力の育成をめざし、ICTを効果的に活用しながら、考える授業づくりを推進するとともに、地域学習及び防災学習を基盤とした課題発見・解決学習の研究を継続する。また、児童会活動や縦割り班活動等で、コロナ禍においても可能な活動を仕組み、児童に自主的な取組を促しながら、児童の自尊感情や自己有用感を向上させる。</p>
------------------------------	--

育成すべき資質・能力	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「協働的に関わる力」「地域の一員として関わる力」
------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(10)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	確かな学力 (知) 「前より賢くなった!友達と学び合うことが楽しい」といえる児童の育成	①児童が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ○考える授業づくりの推進 ○総合的な学習の時間や生活科を中心に、課題発見・解決学習の授業研究を行う。 ○ICT(シンキングツール等)の効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元末テスト平均到達値 ○県学習意識等調査の質問紙(課題発見・解決学習に関わって) ○ICT活用意識調査(教職員・児童) 	低 80 中 75 高 70						
		②個に応じた学習指導を工夫し、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた課題別学習(選択制) 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた課題提示や選択意識調査(児童・教職員) 	75						
**	豊かな心 (徳) 「友達大好き・自分大好き・音戸大好き」な児童の育成	③自他のよさを認め合い、自尊感情、自己有用感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○「あいさつ」の徹底(委員会・学級での取組や研修の実施) ○児童会活動や縦割り班活動等の充実(ICT活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶意識調査(児童・保護者・教職員) ○自尊感情・自己有用感意識調査(児童) 	80						
		④地域の人・ものことと関わり、活用し、感謝・貢献する意識を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○地域学習や貢献活動など地域と関わりが持てる活動を学年2回以上実施(ICT活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと自慢ができる児童の割合 	80						
*	健やかな心身 (体) 「運動大好き・給食大好き・早寝早起き音戸っ子」の育成	⑤基本的な生活習慣の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○「げんきっずカード」による取組(メディア・早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き・運動) 	<ul style="list-style-type: none"> ○6項目を70%以上達成できた児童の割合 	85						
		⑥児童の運動意欲を高め、体力づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○走力を重点的に伸ばす取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○50m走の記録を年2回測定し0.2秒縮めることができた児童の割合 	70						
	業務改善	⑦児童と向き合う時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の精選と簡略化 ○会議時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 	80						
		⑧長時間労働の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後時間の確保(繁忙期) ○週1回(水)の定時退校の推進(研修日を(木)とする) 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務が月45時間以下の教職員の割合(前年度の割合80%を上回る) 	80						

